販売店名

製造販売業

フォナック・ジャパン株式会社

〒141-0031
東京都品川区西五反田 5-2-4
レキシントン・プラザ西五反田
TEL: 0120-06-4079（お客様相談窓口）
FAX: 0120-23-4080
フォナックホームページ：www.phonak.jp
フォナック FM ブログ：http://phonakfm.blogspot.com

029-0223-02/V2/2010-07/Printed in Japan

FM 送信機 ズーム・リンク・プラス
FM 送信機 イージー・リンク・プラス

ZoomLink+
EasyLink+

取扱説明書 Ver.2

はじめに

このたびはフォナック社の FM システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ZoomLink+（ズーム・リンク・プラス）は、マイクロホンが内蔵された Dynamic FM システムの送信機で、マイクロホンの指向性を使用環境に合わせて切り替えることができます。
EasyLink+（イージー・リンク・プラス）は、マイクロホンが内蔵された Dynamic FM システムの送信機で、指向性のマイクロホンが搭載されています。また本書の末尾には切り離して携帯できるクイックガイドがありますのでご活用ください。

ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ お使いになる前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ 以下に示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しておりますので、必ずお守りください。

■ 次の表示区分は表示内容を守らず、誤って使用した場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

ZoomLink+、EasyLink+、バッテリーの取り扱いについて

危険

- 弊社が指定したバッテリーを必ず使用してください。指定以外のバッテリーを使用した場合、ZoomLink+、EasyLink+ やバッテリー、その他機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
- 分解、改造をしないでください。感電、火災、故障、けがなどの原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所や取り扱いに注意してください。
- 火のそばや直射日光の強いところ、炎天下の車内など高温の場所で使用したり放置したりしないでください。機器の変形、故障、バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。

警告

- 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 使用中や充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など今までと異なる症状がある際には、直ちに以下の作業を行ってください。そのまま使用すると発熱、破裂、発火またはバッテリーの漏液の原因となります。
    - ▶ 電源プラグをコンセントから抜く。
    - ▶ ZoomLink+、EasyLink+ の電源を切る。

- 航空機内など電子機器の使用を禁止された区域では ZoomLink+、EasyLink+ の電源を切ってください。電子機器や医療用電気機器に影響を与える場合があります。病院など電波を発する機器の使用に制限がある場所では各機関の指示に従ってください。
- ペースメーカーなど医療機器の装用者が ZoomLink+、EasyLink+ を使用する際は医療機器製造会社や医師の指示に従ってください。

注意

- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には置かないでください。
- 充電の際に ZoomLink+、EasyLink+ や AC アダプターの温度が高くなることがあります。

AC アダプターの取り扱いについて

警告

- 充電の際には付属の AC アダプターを使用してください。
- 濡れた手で AC アダプターのコードやコンセントに触れないでください。感電の原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所や取り扱いに注意してください。
- 風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。感電の原因となります。
- 長時間使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。
- コンセントにつながれた状態で、充電用端子に手や指など体の一部を触れさせないでください。感電、傷害、故障の原因となります。
- AC アダプターをコンセントに差し込むときは金属類を触れさせないよう注意し、確実に差し込んでください。誤った場合、感電、ショート、火災の原因となります。
- 指定の電源、電圧で使用してください。誤った場合、火災、故障の原因となります。
- 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、ZoomLink+、EasyLink+、AC アダプターには触れないでください。落雷、感電の原因となります。
- 充電中は AC アダプターを安定した場所に置いてください。また AC アダプターを布などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障の原因となります。

注意

- AC アダプターをコンセントから抜く場合はコードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。
- AC アダプターのコードの上に重いものを載せないでください。感電、火災の原因となります。

その他注意事項

・ 室内で同じチャンネルの送信機を複数台使用することはできません。干渉ノイズが発生します。
・ 専用の付属品を使用してください。
・ FM 電波は近くで使用している他の受信機でも受信される場合があります。
・ ZoomLink+、EasyLink+ の修理はフォナック・ジャパンまたはフォナック・ジャパンの指定するサービスセンターのみで可能です。
・ FM 製品で使用する電波（169MHz 帯）は各国の電波法で規制されています。国内で購入された FM 製品を海外で使用したり、海外で購入された FM 製品を国内で使用したりすると電波法違反となるためご注意ください。
・ マルチ・チャンネル FM 送信機 ZoomLink、EasyLink に付属する外部入力アダプターは ZoomLink+、EasyLink+ には使用できません。
・ この製品はテレビ電波に近い周波数を使用していますので、テレビ放送塔から 1 km 以内の地域で使用した場合に雑音が混入することがあります。
・ この製品をテレビアンテナや受像機の近くで使用した場合に、テレビ画像に乱れが生じる場合があります。その様な場合には送信機をアンテナや受像機から離してください。

1. 本体付属品（ZoomLink+、EasyLink+）

① ZoomLink+ または EasyLink+

② トラベルケース

③ 外部入力アダプター

④ ミニピンプラグ・オーディオケーブル

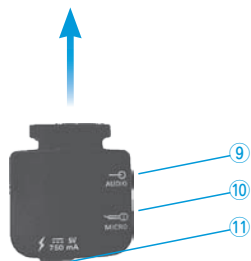
⑤ AC アダプター※

⑥ 取扱説明書（本書）
⑦ 保証書

※ FM 送信機インスパイロ、ダイナマイクの AC アダプターと共通です。

2. 各部の名称（ZoomLink+）

ZoomLink+ 本体

外部入力アダプター

① コード調節ボタン

② ネックストラップ・アンテナコード

③ 電源ボタン兼マイクロホン指向性切替ボタン

 高指向性

 指向性

 無指向性

④ マイクロホン（内蔵）

⑤ ディスプレイ

⑥ クリップ

⑦ チャンネル変更ボタン

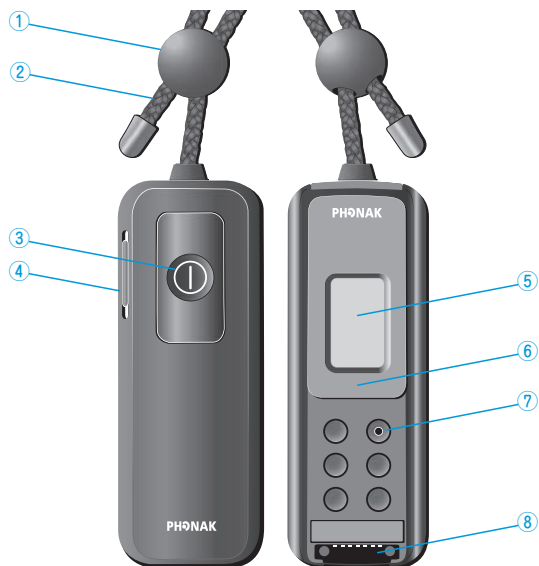
⑧ 外部入力アダプター接続端子

⑨ オーディオジャック

⑩ 外部マイクロホン用端子

⑪ 充電用端子（ミニ USB）

3. 各部の名称（EasyLink+）

EasyLink+ 本体

外部入力アダプター

① コード調節ボタン

② ネックストラップ・アンテナコード

③ 電源ボタン

④ マイクロホン（内蔵）

⑤ ディスプレイ

⑥ クリップ

⑦ チャンネル変更ボタン

⑧ 外部入力アダプター接続端子

⑨ オーディオジャック

⑩ 外部マイクロホン用端子

⑪ 充電用端子（ミニ USB）

4. ZoomLink+、EasyLink+ の使用イメージ

ZoomLink+、EasyLink+ に内蔵されているマイクロホンが話し手の声を集音し、169MHz 帯の FM 電波を使用して受信機へ送信します。

例）

聞き手：
補聴器、人工内耳に受信機を接続

話し手：
送信機を装着

5. ZoomLink+、EasyLink+ の充電

ZoomLink+、EasyLink+ には繰り返し充電が可能なリチウムポリマー電池が内蔵されています。フル充電のために約 2 時間要します。

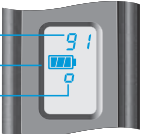
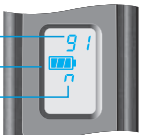
1. 付属の AC アダプターをコンセントに差し込みます。
2. ZoomLink+、EasyLink+ に外部入力アダプターを取り付けます。

3. AC アダプターのミニ USB 端子を外部入力アダプターの充電用端子に接続します。

   ※ AC アダプターは FM 送信機インスパイロ、ダイナマイクと共通です。

4. 充電中、ディスプレイ上にある電池マークが点滅します。

5. ディスプレイ上の電池マークの点滅が終了したら充電完了です。フル充電で、約 10 時間使用できます。

   ※ ZoomLink+、EasyLink+ のバッテリーは過充電されません。

6. ZoomLink+、EasyLink+ の使い方

1. ZoomLink+、EasyLink+ の電源をオンにします。

ZoomLink+	何れかのボタンを 2 秒間長押しします。 選択した指向性モードでオンになります。
EasyLink+	電源ボタンを 2 秒間長押しします。

2. ZoomLink+、EasyLink+ をオンにするとディスプレイが点灯します。

ディスプレイには FM チャンネル番号、バッテリー残量、指向性モードが表示されます。

ZoomLink+	FM チャンネル番号 バッテリー残量 指向性モード
EasyLink+	FM チャンネル番号 バッテリー残量 指向性モード

● マイクロホンの指向性モード

指向性モード	高指向性	指向性	無指向性
ZoomLink+ 指向性切替ボタン			
EasyLink+ 電源ボタン	–		–
ディスプレイ表示	I	n	o
使用環境の騒音レベル	高	中	低

※ ZoomLink+ のマイクロホン指向性切替ボタンを短押しすることで、指向性モードが切り替えられます。

高指向性

指向性

無指向性

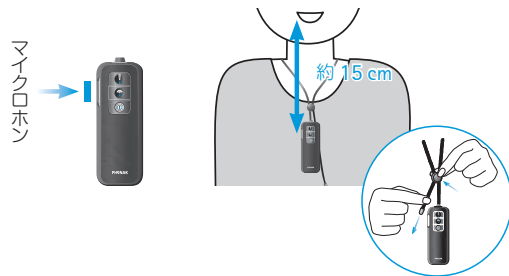
● FM チャンネル

ZoomLink+、EasyLink+ の電源をオンにしたとき、FM チャンネルは電源をオフにする直前に使用していたチャンネルで起動します。チャンネルの詳細については 37 ページをご参照ください。

3. ZoomLink+、EasyLink+ を使用します。

3-1. 話し手に装着して使用

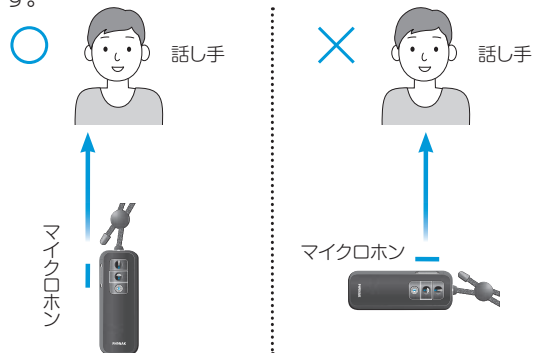
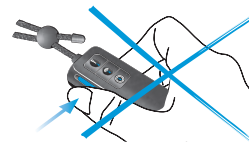
・ 話し手が 1 人のときにはネックストラップ・アンテナコードを話し手の首にかけます。

・ コード調節ボタンでマイクロホンと口元を約 15 cm 以内に近付けます。マイクロホンの位置は集音のために非常に大切です。

・ ZoomLink+ の場合、高指向性、指向性がおすすめです。

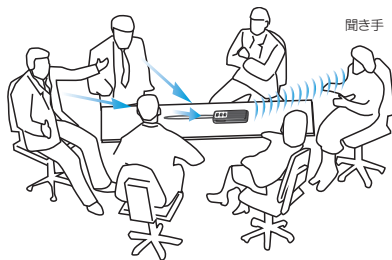
・ FM システムは約 15 m 以内が安定して使用できる圏内です。

3-2. 話し手に向けて使用

・ 騒音下で近くにいる複数の人の声を聞くときに使用します。

・ 聞き手が送信機を持って話し手の口元にマイクロホンを向けます。

・ 手でマイクロホン部位を覆わないように注意してください。

・ ZoomLink+ の場合、高指向性、指向性がおすすめです。

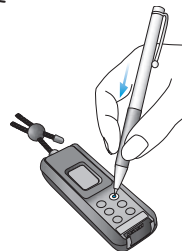
3-3. 机の上に置いて使用

- 会議やレストランなど複数の人が集まり会話をするときに使用します。
- ネックストラップ・アンテナコードは送信機のアンテナを兼ねているため、机に置いたときも伸ばして使用します。
- 話し手が ZoomLink+、EasyLink+ から離れると集音の効果は低くなります。話し手は ZoomLink+、EasyLink+ から約 2 m 以内に近付いてください。

- ZoomLink+ の場合、指向性、無指向性がおすすめです。

7. チャンネルの変更と同期

フォナックの FM 機器は 5 つのチャンネル 91、92、96、98、99 が登録されています（37 ページ参照）。

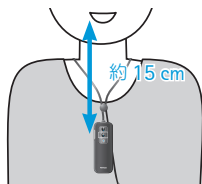
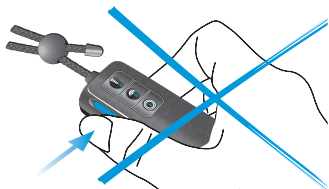
● **ZoomLink+、EasyLink+ のチャンネル変更**

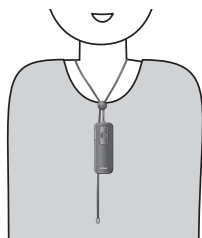
- 右図のように、ペン先でチャンネル変更ボタンを約 1 秒間押します。
- ディスプレイ上のチャンネル番号が順次表示されます。使用したいチャンネル番号が表示されたら、ペン先をボタンから離します。

● **受信機のチャンネル同期**

1. ZoomLink+、EasyLink+ の電源をオンにしたとき、本体からチャンネル同期信号が発信されます。受信機を同期するときは ZoomLink+、EasyLink+ の約 20 cm 以内に受信機を近付け、ZoomLink+、EasyLink+ の電源をオンにしてください。またチャンネル変更時、チャンネル番号が点滅しているときにも同期信号が発信されます。
2. ZoomLink+、EasyLink+ のディスプレイに表示されているチャンネルと受信機のデフォルト・チャンネルが一致している場合、同期操作は必要ありません。

8. ZoomLink+、EasyLink+ 使用時の注意

1.　マイクロホンの位置に注意しましょう

口元とマイクロホンの距離は約 15 cm 以内に調節してください。

2.　マイクロホン部位を覆わないように注意しましょう

3.　ネックストラップ・アンテナコードは伸ばして使いましょう

ネックストラップ・アンテナコードは送信機のアンテナを兼ねています。本体に巻きつけたり、手で触ったりしないでください。

9. フォナック補聴器と一緒に使用する場合

フォナック補聴器と FM システムを使用するとき、通常は補聴器プログラムを「F M + M」（エフエム・プラス・エム）に切り替えます。「FM+M」とは送信機からの FM 音声（FM）と補聴器のマイクロホンからの音声（M）が一緒に聞こえるモードです。

補聴器プログラムを「FM+M」へ切り替えるには方法は以下の 3 つあります。

- **A.　補聴器のプログラムスイッチで手動切り替え**
- **B.　イージー FM で自動切り替え**
- **C.　リモコン FM で自動切り替え**

A. 補聴器のプログラムスイッチで手動切り替え

現在販売しているフォナック耳かけ型補聴器はプログラムスイッチを搭載しています。FM システムを使用する場合、事前に補聴器のプログラムに「FM+M」を設定してください。FM システムを使用する際に、プログラムスイッチを押して、「FM+M」を選択してください。

プログラムスイッチ

ナイーダ UP と ML10i

● プログラムスイッチで切り替える手順

1. 補聴器販売店もしくは補聴器の調整ができる医療機関で、補聴器に「FM+M」のプログラムを使用できるようにしてもらいます。
2. 補聴器に受信機を接続し、電源をオンにします。
3. FM システム利用圏内（約 15 m 以内）で ZoomLink+、EasyLink+ の電源をオンにします。
4. 補聴器のプログラムスイッチを押して「FM+M」に切り替えます。

B. イージー FM で自動切り替え

フォナック耳かけ型補聴器にはイージー FM 機能を搭載した機種があります。イージー FM 機能を有効に設定すると、次の条件下で自動でイージー FM 専用のプログラム「FM+M」に切り替わります。

- 送信機と受信機が FM システム利用圏内（約 15 m 以内）にあること。
- 送信機と受信機のチャンネルが同期されていること。
- 補聴器のプログラムがオートマチックモードであること。
- 送信機から音声が送信されること。

● イージー FM 対応の補聴器（2010 年 7 月時点）

補聴器名	エクセリア アート	ベルサータ	セルティナ	ナイーダ※
イージー FM 対応	○	○	−	○

※ 耳かけ型に対応しています。
※ 今後発売される製品、上記以外の製品の対応についてはお問い合わせください。
※ ナイーダ I はイージー FM 機能がありません。

● イージー FM 使用の手順

1. 補聴器販売店もしくは補聴器の調整ができる医療機関で、補聴器にイージー FM を有効にしてもらいます。
2. 補聴器に受信機を接続して、電源をオンにします。
3. FM システム利用圏内（約 15 m 以内）で ZoomLink+、EasyLink+ の電源をオンにし、マイクロホンに向かって話します。
4. イージー FM が作動し、自動でイージー FM 専用のプログラム「FM+M」に切り替わります。

C. リモコン FM で自動切り替え

フォナック補聴器にはリモコンで操作することができる機種があります。ZoomLink+、EasyLink+ の電源をオンにしたとき補聴器のプログラムを「FM+M」に切り替えるリモコン信号を発信します。リモコン対応の補聴器は ZoomLink+、EasyLink+ からのリモコン信号を受信すると、自動で「FM+M」に切り替わります。リモコン FM 機能を利用する場合、ZoomLink+、EasyLink+ と補聴器を約 20 cm 以内に近付ける必要があります。

● リモコン FM 対応の補聴器（2010 年 7 月時点）

補聴器名	エクセリア アート	ベルサータ	セルティナ	ナイーダ
リモコン対応	○	○	○	−

※ 耳かけ型に対応しています。
※ 今後発売される製品、上記以外の製品の対応についてはお問い合わせください。
※ 補聴器本体のファームウェアによっては対応できないことがあります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

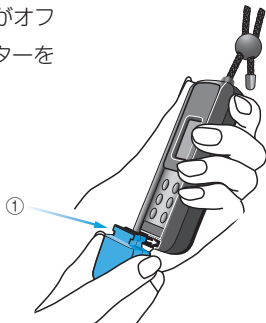
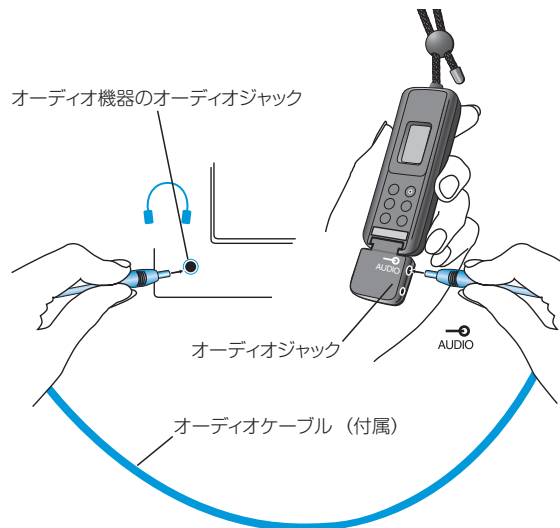
● リモコン FM 使用の手順

1. 補聴器販売店もしくは補聴器の調整ができる医療機関で、補聴器のプログラム 1 ～ 4 の何れかに「FM+M」を設定してもらいます。
2. 補聴器に受信機を接続して、電源をオンにします。
3. 補聴器と約 20 cm 以内で ZoomLink+、EasyLink+ の電源をオンにします。
4. ZoomLink+、EasyLink+ からリモコン信号を受信すると、補聴器のプログラムは「FM+M」に自動で切り替わります。同時にチャンネルも同期されます。

10. オーディオ機器との接続

ZoomLink+、EasyLink+ は付属のミニピンプラグ・オーディオケーブルを使用し、以下のオーディオ機器と接続してテレビや音楽などを楽しむことができます。

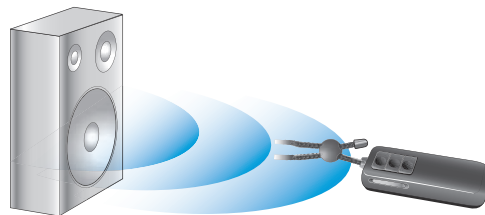
- テレビ
- CD プレーヤー
- ラジオ
- オーディオ端子付きのコンピュータ
- MP3 プレーヤー
- ヘッドセット付きオーディオデバイス
- ゲーム機器

① ZoomLink+、EasyLink+ の電源がオフの状態のまま、外部入力アダプターを取り付けます。

② オーディオ機器のオーディオジャックと外部入力アダプターのオーディオジャックをオーディオケーブルで接続します。

オーディオ機器の電源をオンにすると、ZoomLink+、EasyLink+ は音声信号を検知し、自動でオンになります。オーディオ機器と接続して使用する際も、必ずネックストラップ・アンテナコードを伸ばした状態で使用してください。

③ オーディオ機器の電源がオフになると、ZoomLink+、EasyLink+ は約 40 秒後に自動でオフになります。

- ZoomLink+、EasyLink+ とオーディオ機器が接続されるとディスプレイに“A”と表示され、ZoomLink+、EasyLink+ のマイクロホンは無効になります。

- オーディオ機器の音声入力と一緒に ZoomLink+、EasyLink+ のマイクロホンも使用したい場合は、ZoomLink+ では無指向性ボタン、EasyLink+ では電源ボタンを押してください。ディスプレイに“2”と表示されます。

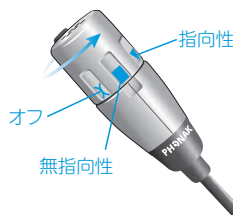
- オーディオ機器にオーディオジャックがない場合や、オーディオケーブルを接続するとスピーカーから音が出なくなるオーディオ機器の場合は、ZoomLink+、EasyLink+ を接続せずにオーディオ機器のスピーカーの前に置いてください。

- TV や AV 機器の外部出力端子を使用する場合はオーディオプラグ変換ケーブル（別売）を使用してください。

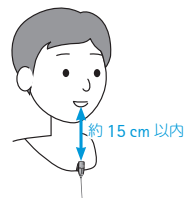
11. 外部マイクロホンの使い方

ZoomLink+、EasyLink+ は外部マイクロホンとして MM8（別売）を使用できます。学校等の教育現場や騒がしい環境で効果的です。

インスパイロ付属の iLapel や iBoom、キャンパス SX 付属の MicroBoom は使用できないため、ご注意ください。

・　外部出力アダプターの外部マイクロホン端子に MM8 を接続します。

・　MM8 のマイクロホンはマイクロホン先端部を回転し、指向性を切り替えることができます。

・　口元から 15 cm 以内の位置に、襟元やネクタイに取り付けてください。マイクロホンの位置は集音のために非常に大切です。

約 15 cm 以内

・　外部マイクロホンを取り付けたとき、ZoomLink+、EasyLink+ のマイクロホンは無効になります。ZoomLink+ の無指向性ボタン、EasyLink+ の電源ボタンの短押しで、ZoomLink+、EasyLink+ のマイクロホンも有効になります。

	外部マイクロホンのみが有効。 ディスプレイに“A”と表示されます。
	外部マイクロホンと ZoomLink+、EasyLink+ のマイクロホンの両方が有効。 ディスプレイに“2”と表示されます。

12. Dynamic FM 機能

ZoomLink+、EasyLink+ は Dynamic FM システム送信機で、より良い聞こえを実現します。

機能名	概要
可変 FM アドバンテージ	周囲の騒音レベルを常時モニターすることにより、必要に応じて自動で FM 音量を調節します。騒音レベルが高い環境下で非常に有用な機能です。Dynamic FM システムの受信機で有効となります。
ソフト・ランディング	突発的に発生する大きな音（送信機落下時など）を検知し、衝撃音を和らげます。
ノイズキャンセラー	周囲の騒音を効果的に抑制します。

Dynamic FM 機能は以下の指向性モードで起動します。

● ZoomLink+

○：有効、 ー：無効

マイクロホン指向性モード		可変 FM アドバンテージ	ソフト・ランディング	ノイズキャンセラー
高指向性		○	○	○
指向性		○	○	ー
無指向性		ー	○	ー

● EasyLink+

○：有効、 ー：無効

マイクロホン指向性モード		可変 FM アドバンテージ	ソフト・ランディング	ノイズキャンセラー
指向性		○	○	ー

13. FM 受信機

FM システムは FM 送信機と FM 受信機の組み合わせで使用します。

● **ZoomLink+、EasyLink+ が利用可能な FM 受信機一覧**

（2010 年 7 月現在）

Dynamic FM システム	MLxi
	ML9i
	ML10i
	ML11i
	ML12i
マルチ・チャンネル FM システム	MicroMLxS
	MyLink+
	MicroLink Freedom

※ 詳細については各受信機の取扱説明書をご覧ください。人工内耳と使用する場合は別途専用アダプター、ケーブルなどのアクセサリーが必要です。

※ 今後発売される製品についてはお問い合わせください。

14. トラブルシューティング

状況）ZoomLink+、EasyLink+ の電源が入りません。
対処）バッテリーを充電してください。

状況）話し手の声がはっきり聞こえません。
対処 1）マイクロホンを口元の約 15 cm 以内に近付けてください。
対処 2）マイクロホン部位を手で覆わないでください。
対処 3）ZoomLink+、EasyLink+ と受信機が離れすぎている可能性があります。送信機と受信機を近付けてください。

状況）話し手の声がまったく聞こえません。
対処 1）受信機が接続された補聴器・人工内耳の電源がオンになっており、必要に応じて FM 用のプログラムに切り替えられていることを確認してください。
対処 2）ZoomLink+、EasyLink+ のチャンネルと受信機のチャンネルが同期されていない可能性があります。送信機を一度オフにしてから、補聴器の近く（約 20 cm 以内）で再度オンにして同期信号を発信してください。

状況）別の声やノイズが聞こえます。
対処）近くで同じチャンネルを使用している送信機がある可能性があります。別のチャンネルに変更してみてください。

状況）ZoomLink+、EasyLink+ の電源ボタンを押しても起動しません。または電源オンのままフリーズしてしまいました。		
対処）以下の操作でリセットしてください。		
ZoomLink+		3 つのマイクロホン指向性切り替えボタンを同時に 1 秒間押してください。
EasyLink+	＋ ⦿	電源ボタンとチャンネル変更ボタンを同時に 1 秒間押してください。

15. フォナック FM システム チャンネル表

フォナック FM システムは干渉の可能性が低い組み合わせの 5 つのチャンネルが登録されています（91、92、96、98、99）。干渉ノイズが発生したり、隣り合う部屋で FM ユーザーがいたりする場合、チャンネルを変更してください。

標準規格	周波数帯（MHz）	フォナック登録チャンネル	干渉の少ないチャンネル※2
M01	169.4125	91※1	96、98、99
M02	169.4375		
M03	169.4625		
M04	169.4875	92	96、98、99
M05	169.5125		
M06	169.5375		
M07	169.5625		
M08	169.5875		
M09	169.6125		
M10	169.6375	96	91、92、99
M11	169.6625		
M12	169.6875		
M13	169.7125	98	91、92
M14	169.7375		
M15	169.7625		
M16	169.7875	99	91、92、96

※ 1：通常、受信機のデフォルト・チャンネルは 91 に設定されています。デフォルト・チャンネルは変更できます。デフォルト・チャンネル変更希望の際は販売店までお問い合わせください。

※ 2：隣接した教室（上下左右の教室）で FM システムを使用する際は干渉の少ないチャンネルを組み合わせて使用する必要があります。例えば隣の教室が 91 チャンネルの場合、その隣の教室は 96, 98, 99 チャンネルから選択してください。

※ 3：送信機にはデフォルト・チャンネルの設定はありません。

16. 品質保証期間とアフターサービス

- 不具合がある場合は修理します。
- 本製品の無償品質保証期間は、お買い上げより一年間です。
- 無償品質保証期間が過ぎ不具合がある場合は、有償修理します。
- お客様による誤った使用、過失、改造による故障の場合、有償修理となる場合があります。
- 製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」等が記載されていることを確認し、大切に保管してください。
- 修理を依頼される際は、お求めの販売店にご連絡ください。
- 修理の際には保証書が必要となります。
- ZoomLink+、EasyLink+ のバッテリー交換は有償となります。バッテリー交換希望の際は販売店までお問い合わせください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

フォナック・ジャパン株式会社

☆ ZoomLink+、EasyLink+ クイックガイド ☆

電源のオン / オフ

ZoomLink+		何れかのボタンを 2 秒間長押しします。 選択した指向性モードでオンになります。
EasyLink+		電源ボタンを 2 秒間長押しします。

充電

- フル充電に約 2 時間要し、約 10 時間使用できます。
- バッテリーは過充電はされません。

1	ZoomLink+、EasyLink+ に外部入力アダプターを取り付けます。	
2	AC アダプターのミニ USB 端子を充電用端子へ接続します。	
3	充電中、ディスプレイ上にある電池マークが点滅します。点滅が終了したら充電完了です。	

使用時のチェック項目

ZoomLink+、EasyLink+	バッテリー残量、マイクロホンの位置、チャンネル同期
補聴器、人工内耳	電池残量、FM 用プログラム
受信機	ZoomLink+、EasyLink+ との距離（約 15 m 以内）、チャンネル同期

使用方法

	使用方法	使用シーン	ZoomLink+ の指向性モード
話し手が装着する	1. 話し手の首にZoomLink+、EasyLink+ をかけます。 2. マイクロホンを口元と約 15 cm 以内に近付けます。	約 15 cm	高指向性、指向性
聞き手が持つ	1. 話し手の口元にマイクロホンを向けます。 2. 手でマイクロホン部位を覆わないようにします。		高指向性、指向性
机に置く	1. ZoomLink+、EasyLink+ を机に置きます。 2. ネックストラップ・アンテナコードは伸ばします。 3. 話し手は送信機から 2 m 以内に近付いてください。		指向性、無指向性

リセット方法

ZoomLink+		3 つのマイクロホン指向性切替ボタンを同時に 1 秒間押してください。
EasyLink+	+ ⊙	電源ボタンとチャンネル変更ボタンを同時に 1 秒間押してください。

Memo

名前		
住所		
一緒に使用する受信機の型式	右耳	左耳
補聴器（人工内耳）のメーカー、型式	右耳	左耳